

## 釧路～日立を結ぶ「第二ほくれん丸」 RORO 船として日本初<sup>※1</sup> 自動運航船としての船舶検査に合格

川崎近海汽船株式会社（以下、「当社」）は、日本財団が推進する無人運航船の実現と、人や物資の安定的な輸送を目指すプロジェクト『MEGURI2040』（以下、MEGURI2040<sup>※3</sup>）に参画しており、少子高齢化による船員不足やヒューマンエラーに起因する事故など、海事業界が抱える喫緊の課題解決に向けた取り組みを進めています。

この度、釧路～日立間を結ぶ当社運航の定期内航 RORO 船「第二ほくれん丸」の自動運航実証実験が完了、日本海事協会による自動運航船に関する認証を1月27日付で取得。その後、自動運航船として国土交通省の船舶検査に2月9日付で合格しました。RORO 船として、これら船舶検査に合格した事例は日本初です。これを受け、「第二ほくれん丸」は営業航行中にも自動運転レベル4<sup>※2</sup>相当となる自動運航機能を用いることが可能となり、今後の効率的な貨物輸送の実現に向けた一歩となることが期待されます。



### <当社の取り組み>

当社は2022年から本プロジェクトの第2ステージに、川崎汽船株式会社、日本無線株式会社、株式会社YDKテクノロジーズの4社で参画し、2020年～2022年の第1ステージで課題となった避航技術の改善など実運用に向けた検討を進めてまいりました。

これまでに、2023年度に3航海、2025年度に4航海の実証試験を実施しており、2023年10月に開始した本船での実証試験では、自動システムが正常動作する運航設計領域として設定している海域にて、システム稼働率平均96%の運航を達成するなど、実海域での適用可能性を見極める上で、重要な手応えだったと受け止めています。

また2025年度は、新たに自動船速制御機能をシステムに加え、より高度かつ包括的な自動運航技術の開発を進めてまいりました。2025年10月以降、実運航の中で、評価とフィードバックを重ねながら、継続的な改善を行っています。

当社は今後も、自動運航機能の社会実装に向け、川崎汽船（株）、日本無線（株）および（株）YDKテクノロジーズとともに、包括的なシステム開発に協力してまいります。

### <RORO 船「第二ほくれん丸」及び実証実験・船舶検査について>

「第二ほくれん丸」は、川崎近海汽船(株)が運航する、全長約173メートル・総トン数11,413トンの内航RORO船であり、北海道釧路港から茨城県日立港まで、北海道の生乳を中心とした農産物などの輸送に従事しています。本船は、4隻ある日本財団無人運航船プロジェクトの実証船の1隻で、既存の内航RORO船へのレトロフィット（既存機器に新たな機能を追加して性能を向上）による自動運航の実現を目指しています。

# NEWS LETTER

船舶を航行させるためには、国が定める技術基準に適合しているかを確認する船舶検査に合格する必要があります。国土交通省では2024年6月、自動運航船に係る安全基準・検査方法などを検討する「自動運航船検討会」を設置し、2025年6月に検討結果を公表しました。「自動運航船」として航行するためにはセンサーやプランナー（避航ルートを自動で計画）等のシステムが適切に動作するか等を確認するための検査を受ける必要があり、2026年2月9日、「自動運航船」として国の船舶検査に合格したものです。

参考：国土交通省「自動運航船の検査方法の概要」 <https://www.mlit.go.jp/maritime/content/001884711.pdf>

※1:日本財団調べ（2026年3月時点）。

※2:特定エリアや条件下において、人の介入が不要な完全自動運航が可能な技術段階を指す。（船舶の自動運転定義は現在IMO等で議論中。便宜的に自動車の定義を流用） 参考：<https://www.mlit.go.jp/common/001226541.pdf>

※3:無人運航船プロジェクト MEGURI2040「無人運航船の社会実装に向けた技術開発助成プログラム」

無人運航船の実用化を推進する技術開発を行うことで、本分野の技術開発への更なる機運を醸成し、その結果我が国の物流及び経済・社会基盤の変革を促進するべく、当該技術開発を支援する助成制度。

多種多様な国内53社で Designing the Future of Fully Autonomous Ships Plus（以下、DFFAS+）コンソーシアムを構成し無人運航船の技術開発に取り組んでいます。

参考：<https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/meguri2040>

## <関連プレスリリース>

・2026年3月9日 日本財団プレスリリース：

[釧路～日立を結ぶ「第二ほくれん丸」RORO船として日本初※1 自動運航船としての船舶検査に合格 | 日本財団](#)

・2026年3月6日「第二ほくれん丸」船舶検査合格 記者発表会の様子：

<https://www.youtube.com/live/bdUwLWV0Y2U>

・第2ステージの概要動画：

<https://youtu.be/IrIuPA7KqvU>

無人運航船プロジェクト  
**MEGURI  
2040**



当社は事業活動を通じてSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献する活動を推進しており、無人運航船の実現に向けたデジタル技術の活用や技術開発の取り組みは以下の目標達成に寄与します。



以上